

## 2018.07.15 日和佐うみがめトライアスロン 参戦記

中川 直

昨年3月にKTCに入り、宿院さんにまんまと騙されホームページ管理人Cをしています、KTC2年目の中川直(すなお)です。HP楽しんでいただけてますでしょうか。笑

7月15日、日和佐うみがめトライアスロンに、KTCから11名で参加してきました。大所帯です。

昨年の日和佐の後、自身の環境がすっかり変わり、練習の頻度が落ちましたが、今ある環境で、どの程度、自分と向き合えるか、どれだけ楽しめるか、そんな思いを胸に挑みました。

前日、大型車2台で京都を出発しました。今回は新しくできた新名神を進んだことから、前回のような袋地に迷い込むということはなく、スムーズに日和佐に到着できました。めっちゃ快適でした。

今回昼食は「三三三食堂」でいただきました。

洒落たお店で、地元の日和佐米がとにかく美味しく、お代わり自由とのこと、皆お代わりしたら、途中でお店のお米が無くなるという事態に。

店主も炊く量を間違えたとのこと。双方「すみません」の連呼。



コースの下見では、新たに見つけた清流で遊びつくしました。深さも透明度も抜群で、動物好きのあおすけが、ずーっと川魚を観察していました。



そして、夜は恒例の花火を見たりと、KTCの夏を満喫しました。

レース前夜は、武市さん曰く、誰かの寝言が凄いし、いびきは聞こえるし、エアコンが極めて寒かったとのこと。レース前から既に仲間内で落としあいが始まっています。笑。私は、唯一、武市さんの「寒いわー」という寝言？に気が付いたくらいでした。来年参加される方は、気軽に温度設定をしてくださいね。

さて、肝心のレース報告に入ります。

### ○スイム

普段は遊泳禁止の海亀の産卵地でレース当日だけは解放されるという会場。ウネりは多少あるものの想定内。バトルもそれほどなく泳ぎます。今年はクラゲを全く見ずに終わり、心拍も落ち着いていて、無難に泳いだ

という感じ。反省に次ぐ反省。昨年より1分多い28分でした。

### ○バイク

バイクは、ワールドカップが開催されるほどの高低差のあるコース。私は、平地はそこそこ、下りはビュンビュン飛ばせますが、いかんせん登りが弱い。最初の登りでガンガン抜かされます。あまりの暑さに、水かけ用のボトルで体を冷やそうとしたら、後ろの選手にボトルで水をかけられます。うわっ誰やと思ってみたら、あの顔です。そう、いやらしい顔で笑う宿院さん。いつか自分も後輩にしてやると心に誓った瞬間でした。その後、第2ウェーブでスタートしたうえしょーさんや奥野さんもじりじりと近づいていて、必死に逃げました。とにかく得意の下りでスピードに乗る！早いときは77km/h出ていたようです。

### ○ラン

とにかく熱い！1km毎にエイドがあり、氷嚢を15袋使いました。4km地点で先を行く宿院さんとすれ違い、折り返し地点ではすぐそこまで奥野さん、うえしょーさんが迫っていることに気がつきます。7km地点で敢え無く抜かされました。泣。

私の記録はというと、エイジ9位（昨年エイジ10位）。2時間47分49秒（昨年2時間43分31秒）。

練習も十分できておらず、奥野さんとうえしょーさんにランで抜かれ、ああやっぱり頑張らなかつたのかなと内心思っていたのですが、昨年より参加者全体で時間がかかっていたようで、そんなに自分のやり方が間違っていなかったのだと思い、加えて、順位も昨年よりも良かったので、少し胸が熱くなりました。今回は若者3人全員が表彰されるという快挙もあり、表彰される姿を見て、また感動しました。



結果は色々でしたが、（前回も書きましたが、もう一度書きますが、）記録はさておき、一人一人が主役になれるトライアスロンの素晴らしさを心と肌で存分に感じました。

帰りは恒例の居酒屋カー。行き帰り全て運転していただいた武市さんには感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。アームカバーを片方車に忘れたので、次回の練習会で一緒のときに持ってきてくださいませ。笑

さて、これから高浜アクアスロン（大久保アクアスロンは大雨の影響で中止になりました。）、花背試走、香住合宿など予定が目白押しで、KTCを楽しみたいと思います。引き続き皆さまよろしくお祈りします。